



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤 大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本 康朋

2021年9月8日

東京臨海 RC 【第1213回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第22回例会】

東京臨海RC

創 立：1994年8月8日
会 長：佐藤 大輔
副 会 長：杉浦 孝浩
幹 事：勝間田 健一
プログラム
構成委員長：田中 紘太
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創 立：2020年12月18日
議 長：坂本 康朋
副 議 長：小松 啓祐
幹 事：勝間田 健一

9月8日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
東京臨海 RC 会員 菅澤卓也様
東京臨海北斗 RSC 会員 樋口義之様

9月29日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
東京臨海 RC 会員 山田政弘様
東京臨海北斗 RSC 会員 小林 誠様

《2021年9月1日オンライン例会報告》 東京臨海 RC 第1212回 東京臨海北斗 RSC 第21回

司会：金城会員



- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長
- 国歌斉唱「君が代」
：ソングリーダー：今井会員
- ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC Ver. 唱和
：杉浦副会長
- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長
ゲストスピーカー 秋田将宏様
ゲストスピーカー 倉田朋広様
- ビジター紹介：岩楯会員
本日は、いらっしやいませでした。



- 9月のお祝い：篠塚親睦委員長
- ◆会員誕生日
臨海 RC：大澤成美会員、齊藤実会員、村社研太郎会員、
高吉泰尋会員、金城健二会員、立花純会員
北斗 RSC：見浪大介会員
- ◆奥様誕生日
臨海 RC：今井博会員夫人、尾身治彦会員夫人、
杉浦孝浩会員夫人、寺田雄司会員夫人、
小松啓祐会員夫人
北斗 RSC：小田桐信悦会員夫人
- ◆結婚記念日
臨海 RC：高吉泰尋会員、福田義正会員
北斗 RSC：寺田千春会員



◆出席100%

27年：齊藤実会員

24年：須藤宗之助会員

1年：今井博会員、金城健二会員



◆「誕生日の歌」：ソングリーダー：今井副委員長

◆1分間スピーチ：村社研太郎会員



■会長報告：佐藤大輔会長

・入会式

東京臨海RC新会員：吉成大樹(よしなり だいじゅ)様

①職業分類：パーソナルトレーナー業

②推薦者：虻川良太郎会員・金城健二会員

③カウンセラー：尾身治彦会員

④所属委員会：親睦活動委員会

・第2580地区若林ガバナーより、「佐賀・長崎豪雨災害支援金のお願い」と、「広島豪雨災害支援金のお願い」が届きました。

■幹事報告：勝間田幹事

・定款・細則・内規と前年度決算報告書を8月27日、会員皆様へメール送信いたしました。

・「入会5年～10年程度の方々に向けたワークショップ」は、9月9日15:30-18:00、ZOOMにて開催されます。登録締切が当日までに延長になりました。また、登録料は1クラブ=1,000円ですので、クラブ負担といたします。参加される方は、事務局にお申込みください。

・9月の定例理事役員会は、本日2時から、3階「松の間」にて開催いたします。



■委員会報告

・SAA委員会（井上委員長）

本日、会場に出席されている会員皆様は、メールボックスの書類を持ち帰るようお願い致します。

・プログラム担当（田中委員長）

ロータリーの友9月号紹介。

■出席状況報告：岩楯会員

東京臨海RC

会員数：58名

出席：36名（例会場：31名 ZOOM：5名）

欠席：22名

出席率 65.45%

東京臨海北斗RSC

会員数：22名

出席：5名（例会場：1名 ZOOM：4名）

欠席：17名

出席率 22.73%

■ニコニコBOX報告

ニコニコボックスの募金は、行いませんでした。

【0件 0円 今年度累計 193,000円】

■卓話

「イニシエーションスピーチ」

◇東京臨海RC会員 秋田将宏様

本日はこのような機会をいただきまして誠にありがとうございます。

幸せなことではあるのですが、普通の家に普通に育ちまして、残念ながらおもしろおかしい話も皆目っておりませんので少々退屈かもしれませんが、私の人となりやを少しでもご理解いただき、今後皆さまに何か話しかけていただけるようなきっかけになる情報が一つでもあれば幸いです。

現在私は、一之江駅前にあります、財成という、管理をメインとした総合不動産業を営んでおります。当社のカエルのキャラクター看板を、知っていただいている方もいらっしゃるかと思いますが、「住みかえる、買いかえる、建てかえる」ということで、カエルなのですが、よく言われるのが、サンリオの「けろっぴ」と似てるよねということ。冒頭はしっかり申し上げておきますが、「けろっぴ」ではありません。よく見ていただくと口の形に丸みがあるのと、チューリップを持って、お腹に財成のZの字がありますので、あれは紛れもなく「けろっぴ」ではなく『Zちゃん』ということをお願いいたします。当時の社員公募で決まったデザインで、意匠登録もしております、定かではありませんが、先代曰くサンリオさんのほうが後だという話ではありません。

入社して6年で、代表者としては3年目になりました。ここにいる諸先輩方と比べたらまだまだ駆け出しの私ですが、異色かもしれない点は、サラリーマン期間が長い点と、創業者の義理の息子として継いでいるところかなと思います。

現在は48歳で、妻と高2小5の息子ふたりの4人家族です。高2の長男は、立教中学でラグビーをやったあと、現在留学中です。小5の次男は、サッカーに熱中

してきましたが、中学受験を目指しています。住まいは、港区東麻布ですが、住所イメージとは異なるおしゃれとは程遠い「古い」木造戸建てをローンも組んで購入しリフォームして、大事に住んでいます。最近となりのポロアパートを会社で買ひまして、あと角の駐車場を押さえたら一団の土地になります。自宅を使いながら地上げ中でございます。

生まれは、大阪です。ルーツである祖父は、石川県の米農家から丁稚奉公で京都に出てきて、呉服屋を独立開業して株式会社にしたようです。父はそこで生まれましたが稼業の呉服屋は継がずに、早稲田大学を出て三菱商事でサラリーマン人生を全うしました。ゴルフが大好きな父でシングルプレーヤーでしたが、2年前に他界するまで、何度もゴルフに誘われましたが、数えるほどしか一緒にゴルフに行けず、今頃やり始めてる自分に少し後悔しています。母も兵庫県西宮市と関西出身でして、親戚は関西方面にしかおりません。秋田家の墓も京都の清水寺の下あたりにあります。父が転勤族だったため引越しの多い子供時代でした。兵庫県西宮市に5年、京都に1年、広島に2年。小3から初めて関東、横浜に出てきて、社会人になるまで横浜にずっと住んでいました。まじめに勉強とサッカーに打ち込む少年としてそのまま高校まで行きまして、神奈川県公立で2番の進学校に入り、やっとではありましたが1浪して父と同じ早稲田大学商学部に入りました。大学では、まじめの反動なのか、キャラクターが変わりまして、「ロン毛茶髪でサーフィン」という典型的な大学デビューを果たしまして、飲み会ナンパ三味のチャラさ全開で楽しく遊び過ぎまして、高校時代の仲間からはあいつおかしくなったと揶揄されていたようです。

就職はその分苦労しました。遊び過ぎて勉強しない結果、就職氷河期でもありましたが、皆が嫌がる証券会社しか内定がとれませんでした。大和証券という会社に入り、父親からは株屋か、と言われあまり褒められませんでした。最初の配属が大和証券静岡支店でした。1年目でお客がいなくて新規開拓1本で、当時山一証券、北拓銀行破綻と下げ相場で株を営業するという困難な証券人生の始まりでした。高額納税者リストをボンと渡されて一日100本近く電話して、ほぼ100%見込み客にあたらぬ、それどころか「二度とかけてくるな」とか、「株なんかやるわけないだろ、何回言えばわかるんだ」とか怒られっぱなしの日々でした。株式投資ができる余裕があるのは、大体は中小企業経営者とか、医者とかです。とにかく企業の社長に会いたくて会いたくてしょうがない、日々でした。ところが驚くことにこのクラブには社長が代表者しかいない、昔の私からすればよだれが出る状態です。立場が変われば本当に変わるもので驚いています。

その当時、今の自分の指針を形成する出来事がありました。なかなかお会いできない社長の会社に訪問した時に、たまたま打合せ終わりなのか、社長が社長室から銀行の営業マンを送りに出しているところに遭遇して、チャンスと思い元気よく挨拶したとき、その社長がその銀行営業マンに「同じ金融でも証券会社だとあ

んな仕事させられんだぞ」みたいことを聞こえるように言いました。日々プライドがずたずたにされている中に追い打ちをかけて大きなショックを受け、悔しくて悔しくてしょうがない出来事でした。なんで同じ金融でこんなに違うのか、その時に「絶対に『あっち側』、つまり大きかろうが小さかろうが『経営者側』に自分は絶対行く！株を売る方のトップではなく、買う方の立場になる。」と心に誓いました。

こんなこともありました。デフレで株価が上がらない中で株を売り続けるという大変酷な状況に、少し明るい兆しが見えたのが、ITバブルの始まりでした。異動先の千住支店のカウンターにふらっと来店したソフトバンク系の一般事務社員のごく普通の女性を対応したのですが、株券入庫をするということで当時8000万ほど価値があったと記憶していますが、さらっと持ち込まれ、驚いて、「これは一体どうしてお持ちなのですか」と聞いたら、「会社でストックオプションをくれたらこうなっちゃった。」と言うのです。それで益々IT系企業への関心が高まり、このままでは波に乗り遅れるという思いがうまれました。当時日経新聞は暗いニュースも多く面白くないわけで、ただソフトバンクの記事だけは何かワクワクさせられるというのを思っていました。そんな時に、日経日曜版にソフトバンクファイナンスの募集採用記事を見つけまして、自分もIT化の波に乗って早く現金を手にして独立開業して経営者になりたいという思いで、転職をするに至りました。そこからソフトバンクインベストメントグループ、今のSBIグループで居心地が良く15年ほど過ごしました。ホリエモン事件でホワイトナイトで有名になった北尾社長がSBIグループのトップで、その近くで仕事をさせてもらいそのダイナミズムに酔いしれながら、業務をひたすら夜中までこなす日々が毎日続く感じでした。SBIでの15年間の前半は、現在のSBI証券に所属しました。後半は、SBIの不動産事業部の部長という立場で、不動産ファンドの組成と運用に携わっていました。約3000人の投資家から100億ほど集め、借入も合わせて、300億程度を使いながら、全国の賃貸マンションに投資をする不動産ファンドの責任者もさせてもらいました。ファンド以外でも海外不動産投資も行い、ハワイ、ベトナム、中国、カンボジア等への投資の経験もさせてもらいました。国内外の不動産会社や管理会社とも付き合いがあったので、今の仕事にもつながる経験ができたことは運が良かったなと思います。SBIグループでは、私もストックオプションをもらって、いくつかの会社の取締役とか執行役員も経験させてもらい卒業しました。ストックオプションで1億ぐらいの現金を作ることが出来ましたが、すべて先代社長である義理の母の指示を仰ぎ、一之江駅前の土地を買わせてもらい、10数年前に6階建てのマンションを建てました。

その後、6年前に財成に入社しましたが、先代が「疲れたから会社売却しちゃおうかな」なんて言う話がありまして、「それであれば私にやらせてください！」というのが、入社した経緯です。ここで大和証券時代に誓った「経営者側になる」ということを選択したことに

なります。

財成は、不動産管理をメインとした総合不動産業でございまして、大家業半分、その他半分という売上構成です。管理戸数としては、1200戸程度で、毎月家賃の5%を原則いただいています。オーナーさんの空室を埋めるための賃貸仲介と売買仲介の営業、営業系は子会社の財成リアルティにて行っており、一之江本社と船堀店と東京駅前店がございまして、また一般建築免許も持っておりまして、管理物件を中心としたメンテナンス・リフォームの事業と、また、何度かお話ししましたパーソナルトレーニングジム事業を東京駅で最近始めました。社員は、全部で25名程です。フィリピンに、投資用の箱として Zaisei Philippine という現地会社がありまして、KOBЕ クリニックというクリニックといくつかの区分マンションと、現地建売業者への利益連動貸付等の投資を行っています。また、地元応援の趣旨で東京 23FC という江戸川区で活動している、関東リーグのサッカーチームへのスポンサーと、先代の趣味でもあった FIAF4 というフォーミュラカーのレースへのスポンサーも少額ですがやっています。

財成は、昭和 61 年 3 月に一之江駅前にて元社長である義理の母が、管理業をメインとする不動産会社をやりたいということで創業しました。元会長である義理の父が、もともと建売事業も別会社で経営していたようで、それを横で見ると自分でやってみたくなくなったのが切掛けだったようです。当初は、今井街道沿いの一之江と小松川の間で義理の母は開業しようとしたのですが、義理の父が本気でやるならどんなに高くても駅前の立地でやりなさいと妻である義理の母に諭し、現在の本社がある場所のほんの一部を取得することから始まったそうです。そこから交渉の末、隣地を購入するチャンスを得て、今の本社ビルがあるようです。一之江駅が出来てどんどん町が成長するタイミングも良いし、立地も良いということで、当初から管理業務をメインとしながら、建売事業もこなし会社は成長していったようです。

私が長女であった妻と結婚後、義理の母から良く聞かされた話がありまして、「バブルの時代に周りが桁違いに成長していく中、じっと我慢してバブル相場での投資は一切しなかった、それがあから今がある」というものです。バブル崩壊後、土地神話に基づいた不動産投資をしてしまった会社がどんどん倒産に追い込まれる中、当社はバブルによる過剰投資をしていない分、購入する余力があったため良い条件にて徐々に自社の所有不動産も増やしていくことが出来たようです。また、お客様である地主の皆さまにも、バブル経済の真ただ中のときは、投資はしないでじっと我慢するようにアドバイスしたようです。バブル崩壊後、数年で建築費がほぼ半額の状態になったそうです。そのタイミングで、これまで一之江で仲良くしてきた農家の方々やお客様に一気に呵成に賃貸住宅の建設を提案して進めていくことで、今の当社を支えていただいているオーナー様たちが生まれることになったようです。無理な投資を、のべつ幕無しにご提案することなく、本当にお勧めできるタイミングで建ててもらおうことをこ

だわりをもって提案できたことが、今でも感謝の声をいただけるお客様の存在につながっています。個性も強い女性社長でしたが、「バブルをやっていない」が口癖で、私が見ていても思いのほか投資には非常に慎重なスタンスで、女性ならではの慎重な一面もありました。義理の母だけではなく、義理の父も本当に強いキャラクターの人物でした。普通夫婦ならどちらかが静かとか大人しくしてバランスが取れているものかと思いますが、どちらもプラスとプラスのぶつかり合いで、言いたいことを言いあう劇場型の激しい夫婦であり経営者でありその家族でした。その二人に叱られることもありましたが、大変多くのことを学ばせてもらい、感謝しています。まだまだ多くのことを教えてもらいたかったのですが、ともに 69 歳、68 歳という若さで数年前に他界してしまい、太く濃い人生を全うしました。

組織を代表される皆様であれば、不動産にかかわることも多いことと思います。資産運用としての不動産投資について、経験あるかたは当然周知の事実でございますが、これからそんな機会があるかもしれない方に、先代がよく言っていた言葉を 4 つご紹介したいと思えます。

1 つ目「雄鶏ではなく、雌鶏を買いなさい」これは、つまり卵を産む鶏でないとだめだ、賃料を生まない不動産は買うべきではないということです。

2 つ目「まず土地を買ってがんばって 10 年で返せ」これは賃貸マンションを土地を買って建てたいというご希望はたくさんいただきますが、特に今の相場では土地建物総額で借入をしては、返済がまわりません。もし地主の方であれば、土地の資金はいらないので建てることをお勧めできます。つまり、土地を購入して自身の事業からの利益も含め返済を頑張って進めて、10 年でその地主の状態になることを目指せば、その後に建物を建てられるよ、ということです。

3 つ目「隣地が出たら目をつぶって買え」当たり前ですが、隣地まで合わせてプランすることで価値が全然変わるからですね。皆さまの自宅の隣地がもし売りに出たら買ったほうがメリットがある可能性が高いです。最後 4 つ目「買える時が、買い時。」これはなかなか真理をついていると思っています。今買い時かってよく聞かれます。あるいは、相場より割安の物件が欲しいと言われる。そこにこだわって狙っていると時期を逃します。いい不動産が出てきて、割安でなく相場価格であっても、その時買うことが出来る余力が自分であれば、それが買い時であり、割安だったかどうかは後で付いてくる話だということです。参考にしてみてください。

さて、このクラブは、櫻田会員のご紹介で入会させていただけることになりましたが、本当に感謝しておりまして、一代で事業を築かれた方や現役で事業を営まれているかたの比率が高く、とても活気と刺激があって素晴らしいクラブに参加させていただけたと感じております。私は、実は先代から、「余分な事業は何もなくていいからね」と釘をさされ継いでおりますが、来たからには自分でこれをやった、これを伸ばしたと

いう事業に必ず取り組みたいと思っています。このクラブで良い刺激を受けて、学ばせていただき、それを実現したいと思います。

また、このクラブの慈善活動を通じて共助の精神をしっかり学び、社会貢献が出来る人物となれるよう皆さまのお力添えをいただきながら努力して参る所存ですのでご指導のほどよろしく申し上げます。

最後に、人生に必要な3人の友人は、医者、弁護士、そして不動産屋とかいいます。その不動産屋として杉浦副会長に加えて、私ともぜひお友達になっていただけたら幸いです。

ご清聴ありがとうございました。



◇東京臨海北斗RSC会員 倉田朋広様

皆さん、こんにちは。本日はこのようなイニシエーションスピーチの機会を頂きまして誠にありがとうございます。しばしの間、お付き合いの程よろしく願っています。

改めまして、最近、試しにモデルナの株を買ってみたところ、その瞬間から株価が下がり続けている、東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ、倉田“mRNA”朋広でございます。普段は、京葉鈴木グループ、京葉環境事業協同組合で外国人技能実習生の受入を担当させていただいております。

私は1968年6月2日、秋田県で生まれました。当時の家族構成は、両親、祖父母、数年後には妹が生まれました。現在独身です。過去も、おそらく将来も独身です。父親は、魚屋でした。勤めておりましたが、私が中学の時に独立し、小さな店を構えておりました。学歴は中卒でした。中卒の魚屋です……もしかしたら、皆様は今「ド根性ガエル」に出てくる鮎屋のような男をイメージなさったかも知れませんが、あんなにあごは大きくなかったです。

私ですが、まず、保育園には3年間通いました。それは、いきなりの人生の絶頂期でした……勿論、あくまで京葉鈴木グループにお世話になるまでは、ということですが。

お遊戯会では3年連続主役を演じました。また、絵を描くことが他のひとより上手で、卒園記念のパネル作成時には、保育さん達が上手く描けない部分をすべて私が代わりに描きました。とにかく、あらゆるひとを笑顔にし、あらゆるひとに可愛がられ、あらゆるひとを感心させた、素晴らしい時代でした。

小学校では、野球をやりたいかったのですが、そろば

ん塾に通いました。父が、そろばんで1級を取るのにはすごく難しんだ、と話していたので、だったら俺が取ろうか、と始めました。合格するまで、3年生から初めて4年かかりました。途中で嫌になったのですが、ここで辞めたら、この先すべて中途半端になる、と考え直して踏みとどまりました。本当に、この年齢位までの私はしっかりしておりました。

中学校では、ちょっとした出来事がありました。2年の夏休みに、読書感想文の提出先を自分で選んで応募する、という課題がありました。私は、副賞図書券5万円につられ、原子力発電を考える作文に応募してみました。我ながらキワどいものを選んだものだな、と思いますが、何も考えていなかったのでしょうね……今も何も考えておりませんが。

すると、当時の科学技術庁長官から優秀賞をいただきまして、東京の表彰式に招待されました。強烈な体験でした。他の受賞者は、中高一貫有名校の学生ばかりで、垢ぬけてて、見るからにかしこそうなんですね。

「東京の中学生は凄え!!」と衝撃を受けました。それで、秋田に帰ってからも、しばらく東京の言葉使いを真似していたころ、ご近所さんから、倉田ん家のせがれは頭がおかしくなったといわれました。私は、おかしいのはそっちだろう、と思いました。子供に田植えの手伝いをさせるんだったら、四谷大塚にでも通わせたらどうだ、もっともそんなものはこの辺にはないだろうけどがな、そう思いました。……おそらく、私は、自分自身も、そのご近所さんのご近所さんであることをすっかり忘れてしまっていたのだと思います。

高校は、実家の近くの、年に数人、東北大学へ進学するような、絵にかいたような無名高に行きました。最近、その卒業生がよくテレビに映っております。菅総理です。だから何なんだと訊かれましても、勿論、何でもありません。

部活は弓道部に少しだけ在籍しておりました。女子在籍率が一番高いということで入部しましたが、なぜかその年の新入女子部員はゼロでしたのですぐに退部しました。おそらく、射貫きたいのは弓道の的じゃなかったんでしょうね。本当に残念でした。

勉強の方は「無名高からの有名大学合格体験記」といった本を読んで、勉強の仕方は勉強していたんですが、肝心の受験勉強の方をすっかり忘れてしまって、浪人してしまいました。

上京してお茶の水の予備校に通ったのですが、予備校にも選抜試験や合格発表もあるんですね。おかげさだ、と思ったのですが、いざ、掲示板の理系で一番上のクラスの中に自分の番号を見つけたときは、予想に反してうれしくなりました。きっとその回はバ……ではなく、あまり優秀でなかった方がたまたま多くいらっしやっただのかな、と推測いたします。ですが、その時は、ここから頑張るぞ、という気持ちが沸き上がってきました。

けれども、そんな輝きは、わずか数週間後に消えてしまいました。

実は、上京する前に、父がうつ病を患い、短期間ですが入院しておりました。すでに退院はしていたのです

が、ここからはよくある話で、どん底の状態よりも少し立ち直ったときに危険というパターンです。自ら命を絶ってしまったのです。驚き、悲しみ、不吉な感じ、様々な感情が沸き起こりましたが、一番大きかったのは怒りでした。一体、なぜこんなタイミングで、こんなことになるんだ！と思いました。

マイクタイソンがこんなことをいっています。
——ひとは誰でも計画を持っている、鼻にパンチを食らうまでは。

私も、運命の鉄槌を顔面に食らって、人生設計が完全に吹き飛んだようでした。それでも、泣いたりするようなこともなく、何事もなかったようにすぐさま日常に戻りましたが、これがまずかったですね。心理学的等によりますと、悲しい出来事に対しては、まずきっちり向き合うべきだということです。その過程を怠ると、心に空洞ができて、大変よろしくない、ということです。事実、私は、以前のように勉強に打ち込むことはなくなってしまいました。

そして、自分は、大切なものを失くしたんだな、と感じました。それは、「人生に立ち向かう気持ち」です。翌年も、当然また落ちまして、クラスメート達が一流大学に合格するのを間近にして、とてつもない疎外感、敗北感を味わいました。

ちょうど、この頃、母から、父が死ぬ当日の朝も、私がプレゼントしたチープな腕時計を大切に腕に巻いていた様子だとか、受験に関しても、あいつだったら大丈夫だろう、といていたことを聞きまして、タガが外れたんでしょうか、人間に戻ったんでしょうか、やっと涙が流れてきました。情けねえなあ、と心底思いました……これ以外で、人生で私が涙を流したのは、あくびをしたとき位しかないんですけどね。

浪人時代が終わると、日本に居場所がなくなった気がして、渡米しました。ヴァージニア州です。いっそMITでも目指そうかと自分を鼓舞してみましたが、環境を変えても「人生に立ち向かう気持ち」は戻ってきませんでした。むしろ日本から締め出されて、非常に寂しい気分を味わいました。結局、中程度の州立大学に入りました。金銭状況は非常に厳しくて、常に不法にバイトばかりしていました。それでもバイト先のひとつの日本食料品店のオーナーには大変良くしていただいて、帰国を切り出したときは、食料品店の2号店を開けるから永住権を取らないか、と誘われました。ありがたいお話でしたが、丁重にお断りしました。もったいなかったですね。一体何を考えていたのでしょうか。

大学5年間、不法滞在4年間、トータル9年間のアメリカ生活でした。

そして帰国してドルを両替したら3万円しかありませんでしたので、敷金礼金を稼ぐために、即入寮可能な仕事をしました。3ヶ月で辞める予定でしたが、ここでもよくしてくれるひとがおりまして、結局20年ほどフィリピンクラブで働きました。本当に、一体、何を考えていたのでしょうか。

そして、現在は、冒頭でお話させていただいたように、京葉鈴木グループで働かせていただいております。

鈴木会員との出会いは、間違いなく、自分の人生に起きた最高の出来事です。ですが、鈴木会員のような存在に感謝を伝える時に、他のひとの感謝と差別化して表現するのは難しいですね。まるで、男性から引く手あまたの女性に告白してみたら、じゃあ、あなたの気持ちは他のひととどこが違うんですか、なんて聞かれたみたいですね……うーん、すいません、やっぱり多分他の人と同じです、そんな感じでしょうか。つまり皆最大限に感謝しているのですね。

最近、お茶の水の予備校の合格発表の場所に行ってみました。あれから30年以上も経ったのかと思いながらも、当時に戻ったような、ちょっと不思議な感覚がありました。そして、ハッとしました。私は、長い遠回りを経て、失ったと思っていた「人生に立ち向かう気持ち」を、すでに取り戻しているじゃないか、と気付きました。これも、ロータリーの皆様とこうして大切な時間を共有させていただいていることも、大きな要因のひとつであることは、間違いありません。

余談になりますが、私の父は48歳でこの世を去りました。私は現在53歳です。いわば父が生きられなかった時間を生きているわけです。亡くなった大切なひとは記憶のなかで生き続け、記憶のなかで会話もできます。ですが、記憶というものはアクセスし続けないと薄れていくものでもあります。今回、このような機会を頂き、自分を振り返ることで、計らずも父のことを思い出しました。父も、久しぶりに記憶から引っ張り出され、なおかつロータリーの皆様にまで聞いていただいて、喜んでいるのではないかと勝手にそう思うことといたします。

ご清聴、誠にありがとうございました。



■ 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



当クラブ例会変更

- 9月13日（月）移動例会は中止・休会
- 9月15日（水）当初より例会は予定されてません
- 9月22日（水）休会（祝日週）